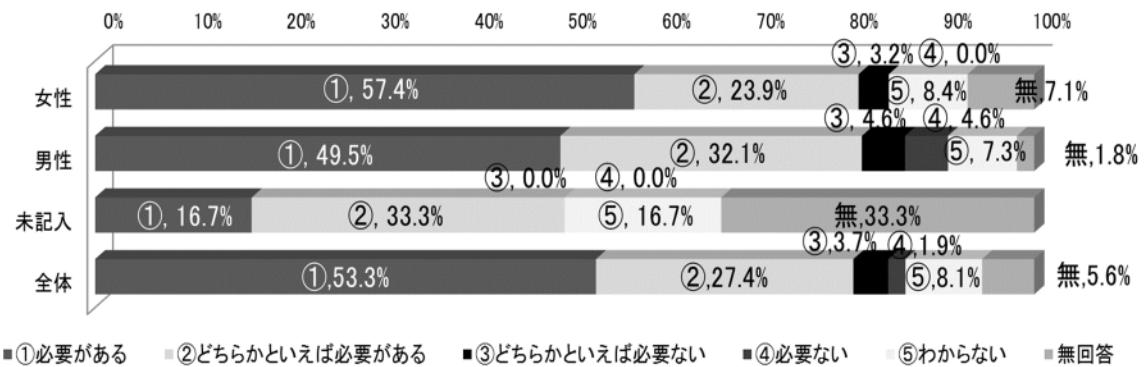


6. 防災対策・災害復興対策について

問 15 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか？

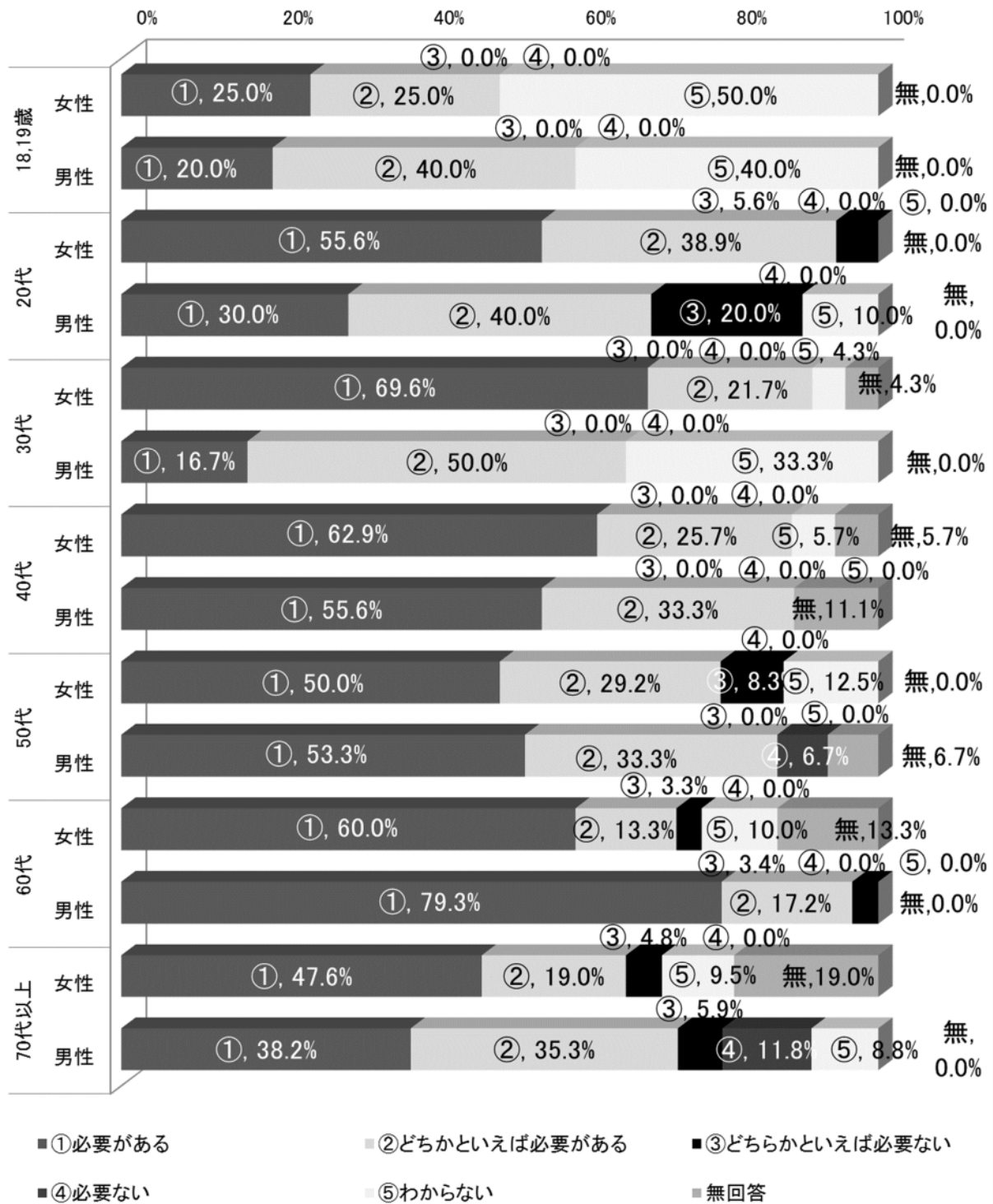
- ① 必要がある
- ② どちらかといえば必要がある
- ③ どちらかといえば必要ない
- ④ 必要ない
- ⑤ わからない

【全体(性別比)(R1)】



- ・ 「必要がある」(①と②の合計)と回答した人の割合は男女とも高く、全体で 80.7%
- ・ 女性と男性の意識割合はほぼ同じだが、男性より女性の方が「①必要がある」と回答した人の割合が高く、「②どちらかといえば必要がある」と回答した人の割合が低い

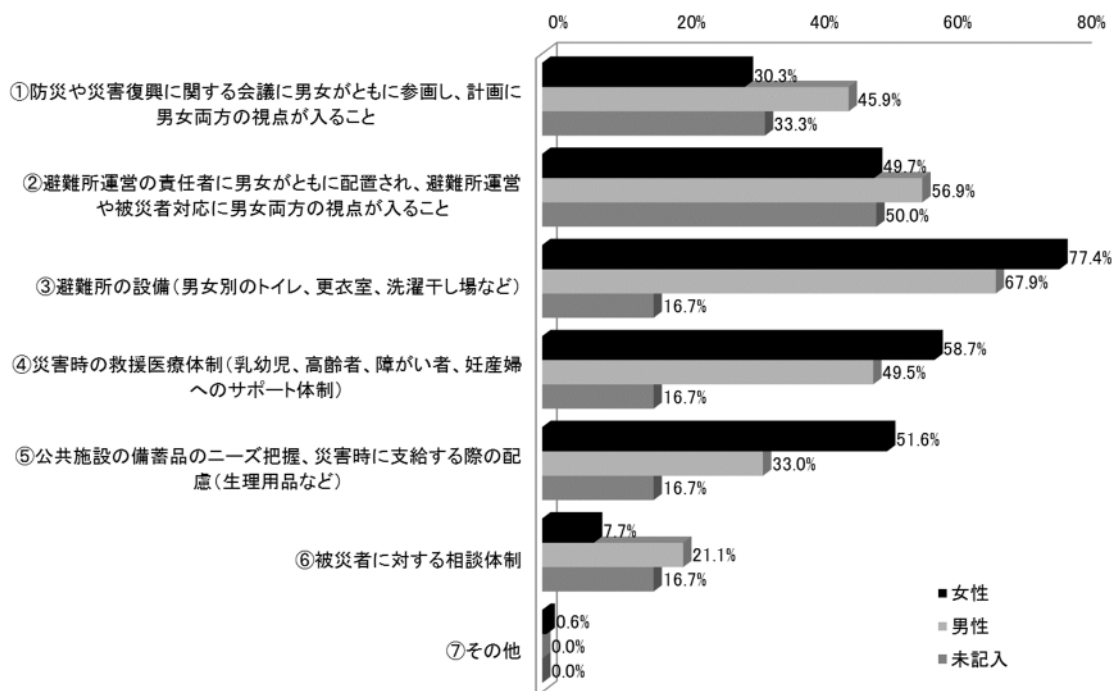
【性別・年代別(R1)】



- すべての世代で必要と考える人の割合が高く5割以上
- 「必要がある」(①と②の合計)と回答した人の割合が最も高いのは 60代男性で 96.5%、次いで 20代女性で 94.5%、30代女性で 91.3%

問 16 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことはどのようなことですか？（3つまで）

- ① 防災や災害復興に関する会議に男女がともに参画し、計画に男女両方の視点が入ること
- ② 避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること
- ③ 避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干し場など）
- ④ 災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦へのサポート体制）
- ⑤ 公共施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮（生理用品など）
- ⑥ 被災者に対する相談体制
- ⑦ その他



▶ 「⑦その他」の意見の詳細はP69をご覧ください

- ・ 全体で最も多かったのは「③避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干し場など）」で、女性は77.4%、男性は67.9%、全体では72.2%の人が選択
- ・ 全体で2番目に多かったのは「④災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦へのサポート体制）」で54.4%、3番目は「②避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」で51.9%の人が選択